



菊池川流域

# 米作り、二千年にわたる大地の記憶

シリーズ日本遺産 ⑬

菊池川流域「今昔『水稻』物語」

## 五穀豊穰を祈るまつり ②

### 七郎神大祭

和木町西吉地で、毎年4月の第1日曜日（または第2日曜日）に行われます。これは地域の神社である七郎神に、男性器を模した神輿が地元住民によって奉納される祭りであり、その年の五穀豊穰と子孫繁栄を祈ります。

七郎神は和木町に点在する八つの神様の一つで「七郎さん」ともいわれます。祭られていたのは、約800年前にこの地域に農耕技術を広め、土地を豊かにしたと伝わる坂梨七郎右衛門です。正治2（1200）年、七郎神の北方にある山森阿蘇神社の創建に伴い阿蘇神社本宮（阿蘇市）から下り、その後この地に留まった人物だといわれています。五穀豊穰の神様として祭られる七郎さんは子孫繁

七郎神大祭(神輿の様子)



七郎神



栄にもつなげられ、現在は性と腰の神様として、子宝を望む人や夜尿症で悩む人、足腰を強くしたい人など、県内外から参拝者を集めています。

### 肥後神楽

県北一帯を中心として、県内に広く伝承されているものです。菊池川流域では現在、52の神社の秋祭りなどで、豊作へのお礼と五穀豊穰を祈願して奉納されています。舞の構成は数座程度の演目からなり、笛と太鼓に合わせ舞います。手には鈴のほか剣や弓などを持ちます。衣装は手に持つものによって異なり、御幣や榊のときは狩衣、剣や弓のときは直垂を着ます。国津（二天・鬼神）といわれる神楽は、鬼面を付けるのが特徴です。

て祭られる七郎さんは子孫繁

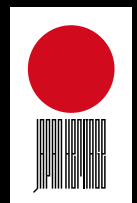
神楽は主に10月中旬から12月初旬にかけて各神社で奉納されます。神社によって内容は多少異なりますが、菊池川流域の神楽は全て肥後神楽に分類されます。玉名市では毎年11月第1土曜日に神楽フェスティバルが開催され、10団体ほどの神楽を見ることが出来ます。

（担当：和木町社会教育課）



平成30年度玉名市神楽フェスティバル。左から、小野尻神楽連(小野尻白鳥神社)の二剣と、玉名神楽保存会(玉名大神宮)の吾段(\*)。\*国津は、玉名市では吾段と呼ぶところが多い。

問い合わせ先  
生涯学習課  
社会教育係  
☎ 0968(25)7232



菊池川 日本遺産 検索

### イベント情報(山鹿)

#### 日本遺産巡回展 山鹿市編

これまで各会場で展示した内容に加えて、山鹿市の日本遺産構成文化財を詳しく紹介します。

場 所 山鹿市立博物館  
期 間 2月2日(土)～5月6日(祝)

休館日 月曜日(祝除く)、2月12日(火)、3月22日(金)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで)

入館料 大人210円、子ども50円

問い合わせ先  
山鹿市立博物館  
☎ 0968(43)1145

